

Hm助成支援団体のご紹介

ひゃくなん会

代表 ^{はまべ おさむ} 濱部 修さん

「ひゃくなん会」は、ケアマネジャーを中心に人生100年時代のひやく(百=たくさん)のなん(難)について、語り合い、関係づくり、問題を解決していこうと、令和元年5月に設立されました。



▲オンラインサロンの様子

設立当初は参加型で開催されていた月1回のサロンもコロナ禍で中断。オンラインへと方向性を変えました。「Zoomでの開催なので、感染症が拡がっても、災害があっても継続できますし、遠くの場所からでも参加できます。どんな状況でもつながりを切らないことを重視しています」。もっと慣れて、いずれは対面と遜色なく会話ができることを目指しており「代表の私にも、誰にも権力がないので、縦の関係ではなく、対等な横の関係、フラットに話し合うことを心がけています」と濱部さん。

人生100年時代を健やかに過ごすためには準備が必要

毎月最終木曜日の10時から開催されるオンラインサロンには、毎回テーマが設けられ、専門家が登壇します。ケアマネジャー、地域包括支援センター、社会福祉協議会、民生委員、各種

専門家、地域住民、とさまざまな人が参加しています。「地位とか立場とか意識せずフラットな関係を築きたい。ボーダレスにいろんな地域、人々をつなげていきたい」と願う濱部さんの理想の形ともいえます。オンラインならではの交流も増え、月1回ですが、参加者同士のコミュニケーションが生まれ、それぞれの知識を出し合っ問題解決に役立ち始めているそうです。「サロンをオンライン化した時から、「メタ」的な役割を果たそうとやってきました。「メタ」とは、いろんな地域の団体をつなげていき、その地域の発表の場になること」と今後の展望を話してくれました。これからの人生100年時代を、誰もが健やかに安心して過ごすには、こうした「ひゃくなん会」のような活動が大切になると感じました。※オンラインサロンはどなたでも参加可能。参加希望者はこちらまで。



▲代表の濱部修さん



▲対面で行っていたサロンの様子

osamu9276zzz@softbank.ne.jp

特定非営利活動法人ここ惚れわんわん

<https://kokohore-wanwan.com>

理事長 ^{さえき さゆり} 佐伯 小百合さん

結婚を希望する成人男女に対して、結婚に関する啓発活動や出会いの場を提供。さらに、障がい者やひとり親家庭の婚活支援などを行い、少子化問題の改善や社会・地域の活性化に寄与することを目的に



▲カレー作り婚活イベントの様子

「特定非営利活動法人ここ惚れわんわん」は活動しています。団体の設立は、昭和61年に代表の佐伯小百合さんが夫婦で仲人を務めたのがきっかけとなりました。「私は人との関わりが好きで、度々仲人をする機会がありました。人の喜ぶ姿を見るのが好きで、その後結婚をサポートするかたちでの幸せのお裾分けが、自身の喜びとなりました」と佐伯さん。

平成22年に知人と任意団体を発足、平成27年には広島県出会いサポーターズとして認定され、令和2年11月にNPO法人化しました。「最初に仲人を務めた昭和61年と現在では、結婚に対する周囲の考え方、当人同士の意識も大きく変化しています。そんな中でも私の変わらない思いは、結婚は人生を豊かにする方法の一つで、一組でも多く成婚して幸せになって欲しいとの願いです」。

コロナ禍でもオンラインを活用し婚活をサポート

当初は婚活イベントを中心に活動を行っていましたが、コロナ禍となった令和3年以降は、Zoomを活用したオンライン婚活を、毎月2回、第1・第3土曜日に開催。平均5~10人、多い時は20人ほどが参加しています。またイベント規制が緩和された後は、不定期ですが対面の婚活イベントも再開しており、令和4年秋には、オンライン婚活、イベント告知のチラシも作成し、広島市中心部で配布。その効果もあって、少しずつ参加者も増えています。



▲宮島での婚活イベントの様子(令和5年1月)

多様性や自分らしい価値観が尊重される現在ですが、結婚を望む人には幸せな結婚をしてほしいと願う「ここ惚れわんわん」の皆さん。今後は、障がい者や仕事のために来日し滞在している外国人など、さまざまな立場の人のための婚活サポートも考えているそうです。人と人との縁を結び、結婚という人生の大きな節目に関わることにやりがいを感じ活動している佐伯さんたちの幸せの種まきは、これからもたくさん大きな花を咲かせていくでしょう。

妙聲寺ほのぼの寺子屋

代表 ^{みやさこ たかこ} 宮迫 孝子さん

塾へ行けない子どもや、学校の授業について行けない子どものサポートを目的に令和3年に設立された「妙聲寺ほのぼの寺子屋」。代表を務める宮迫孝子さんが40年に渡る個人塾の経験を生かし、仏教婦人会のボランティアスタッフと共に週1回無料学習会を実施しています。教室はお寺の本堂。宮迫さんが坊主ということに加え「もっとお寺に慣れ親しんでほしい」との願いから実現した、まさに現代の寺子屋です。



▲本堂での学習の様子

「南観音地区は商業地域なので元々地域が関わりにくい土地。コロナ禍でさらに孤立してしまいました。子どもたちがその犠牲にならないよう、ここではしっかり信頼関係を築き、楽しみながら勉強ができる雰囲気づくりを大切にしています。学校が終わると一目散にやってきて、ただいま!と入ってくる子もいます」と微笑む宮迫さん。現在ここに通ってくるのは定員の15人。児童1~2人に対しボランティアスタッフ1人で指導にあたっています。また、毎回保護者にLINEで子どもの様子や学習状況を報告するサポートも行っています。「保護者の方も喜んでくださるので励みになります」と言い、報告から相談へと流れるこ

とも珍しくないようで、「みんな、話を聞いてもらいたいですよね。人と関わりたい。大人も子どもも同じだと思います」。

子どもは可能性のかたまり 地域の子どもは地域で育てる

学びの場がお寺の本堂ということもあり、子どもたちはとても礼儀たたく穏やかに学習に取り組んでいるのが特徴です。また、方針でもある「褒める、励ます」の効果で、自発的に取り組む姿が見られるようになったそう。それは学校の授業にも生かされるという嬉しい効果も。そんな状況に宮迫さんは、「基礎学力を身に付けると同時に、自己肯定感を高めてほしいと思っています。自分に自信が持てると表情も明るくなるし、いろんなことをやってみようという意欲にも繋がりますから」と言います。また、時には理科の実験をしたり、低学年の児童がきなこ餅を作り、高学年やボランティアスタッフに振る舞うなど、さまざまなアイデアで子どもたちに楽しんでもらう工夫も施されています。このような世代を超えた関係、交流が、子どもたちの心を豊かにしてくれると感じます。



▲きなこ餅づくりの様子

くらりか広島

代表 ^{やまだ ようじ} 山田 洋史さん

小学生を対象に、科学を通してものづくりの楽しさを伝える「くらりか広島」。かねてより関東を中心に行われていた活動を、平成26年、代表を務める山田洋史さんの声かけで広島でもスタートさせました。大学講師や大手製造メーカーの社員など、さまざまな立場のスタッフ20人が公民館などで出張授業を実施。これまでに延べ6,000人を超える子どもたちに伝えてきました。山田さんは、「日本が世界に誇れる技術や生産能力をもっと伸ばしていきたい。そのために、子どもたちにもものづくりのメカニズムを伝えて興味をもってもらいたい」と話します。



▲プログラムを作る児童と保護者

疑問や興味を持ち、好奇心を引き出すことが大切

ここ数年、力を入れているのが「プログラミング」。継続的に関われるよう初級から上級まで子どもの能力に合わせて教えています。「プログラミングってゲームを作るイメージですが、実はそれだけじゃないんです」と話す山田さん。「科学に限らずものづくりにはメカニズムがあって、それを理解してプログラムを立

てる。しっかり段階を踏めばきちんと動いてくれる。この考える力や想像力を養うことが小学生に科学を教える価値だと思っています。それは日常生活からも「どうして?」を引き出し、より充実した日々を過ごしてもらいたいという願いも込められています。



▲公民館にてプログラミングの基本を説明する様子

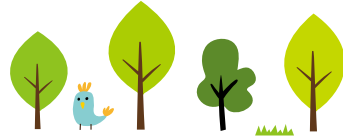
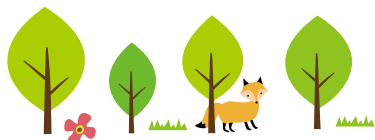
令和2年から始めたプログラミング教室では、パソコンよりも操作が簡単なタブレットを使用したり、初心者には少し手を加えることでゲームを完成させ、達成感を味わってもらおうなど「おもしろい」と感じてもらう工夫を凝らしています。また、親子で参加することで家庭に帰ってからもプログラミングが共通の話題となり、継続してプログラミング学習ができるようになるなど、確実に成果が表れているそうです。



▲タブレットのプログラムをタッチペンで操作する児童

令和5年2月には東区民文化センターで発表会を開催。子どもたちの成果を発表し、継続意欲を導きました。ここには、将来、日本のものづくりを担う子どもたちがいきいきと学習しています。

情報の森



生涯学習

シティカレッジ

大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に生かすことを目的に、学習機会を提供します。

講座名	人の心の不思議とその対応
内容	①人間関係と心の健康について ②思春期の心の摩訶不思議 ③こどもの心の不思議とその対応
日時	5月27日(土) ①10:30~12:00 ②13:00~14:30 ③14:40~16:10

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟5階研修室A

定員 60人(先着順)

受講料 無料

対象 高校生・大学生・社会人

申込方法 5月1日(月)から申込受付開始。申込開始日までは受付できません。(1)電話またはファクスにより①講座名または大学名②氏名(ふりがな)③住所④連絡先(電話番号、ファクス番号)をご連絡ください。※全内容参加が前提です。※郵送(はがき等)による受付は行っていません。(2)受付時間:月~金(祝日を除く)午前8時半から午後5時15分まで。土曜日・日曜日・祝日は閉所しています(来所の場合は午前9時半から)。

申込・問合せ (公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係 730-0036 中区袋町6番36号 ☎082-541-5335 ☎082-541-5611

リカレント講座

大学などの高等教育機関と連携して、市民の皆様へ高度で専門的な学習機会を提供する公開講座です。

広島経済大学との連携講座 「近現代における広島諸相 part2」

令和5年度リカレント講座は、昨年度に引き続き、近現代における広島の特色をあらわす諸相についてのお話です。

具体的には、明治前期のインフラ整備としての宇品築港、戦前期の日本外交と広島・呉、財団法人義倉(福山)の「貧困者調査」、そして近代広島の「痕跡」を巡る地歴ウォークなどのテーマで考えてみます。

1回	日時	9月12日(火) 18:00~20:00
	テーマ	千田貞暁と宇品築港 ~明治時代前期のインフラ整備~
	講師	濱田 敏彦(広島経済大学教授)
2回	日時	9月19日(火) 18:00~20:00
	テーマ	戦前期の広島、呉と日本外交
	講師	寺本 康俊(広島経済大学教授)
3回	日時	9月22日(金) 18:00~20:00
	テーマ	「貧困者」の生活史 ~財団法人義倉の「貧困者調査」の検討~
	講師	平下 義記(広島経済大学准教授)
4回	日時	9月26日(火) 18:00~20:00
	テーマ	近代広島の痕跡 ~「地歴ウォーク」のススメ~
	講師	田中 泉(広島経済大学教授)

プラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟5階研修室AB

定員 100人(定員を超える場合は抽選)

受講料 2,000円

対象 広島市内に在住か通勤・通学の方

申込方法 7月3日(月)から申込受

付開始。申込開始日までは受付できません。はがき(1人1枚)に①講座名②住所③氏名(ふりがな)④電話番号を記載のうえ、下記宛先へお送りください。

[宛先](公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課

「リカレント講座(広島経済大学)」係 〒730-0036 中区袋町6番36号

申込締切 7月28日(金)【必着】

問合せ (公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係 ☎082-541-5335

イベント

広島ジュニアマリンバアンサンブルコンサート Vol.32

小学生から高校生まで約15名の子ども達が「世界中の平和を願って」精一杯演奏します。クラシックや洋楽、懐かしい日本の歌、和太鼓やダンスを取り入れた明るく元気な曲など、小さなお子様からご年配の方まで皆様が見て聴いて楽しんでもらえるプログラムです。約60名による大人のマリンバオーケストラもお楽しみ下さい。

日時 7月29日(土)

開演:【昼の部】午後1時、【夜の部】午後5時



▲本誌5ページの「ひろ記者がゆく」広島ジュニアマリンバアンサンブルのインタビューもご覧ください。

場所 広島県民文化センターホール
入場料 前売券1,000円(当日券1,200円)全席自由席

※未就学児はチケット不要

チケット販売開始 5月15日(月)

チケット取り扱い エディオン広島本店プレイガイド、広島県民文化センターフロント、ウッドワンさくらびあ事務室

問合せ 広島ジュニアマリンバアンサンブル主宰浅田 ☎082-271-1477

http://marimba.hiroshima.jp/

船越誰故草まつり

旧船越町の町花「誰故草(タレユエソウ)」の見頃に合わせて、誰故草の展示を行います。船越誰故草保存会の会員が大切に育てた誰故草をご覧に、ぜひ船越公民館までお越しください。

今年も、誰故草にちなんだ作品の展示などを実施して船越誰故草まつりを彩ります。

日時 4月1日(土)~4月16日(日) 午前8時半~午後10時
※4月1日(土)は、午後1時から
※4月16日(日)は、午後2時半まで
※火曜日を除く

入場料 無料

内容

①ロビー展示

- ・誰故草の展示
- ・ふなっきーのぬり絵作品展
- ・子どもたちの描いた誰故草作品の展示など
- ・パネル展「折り紙の誰故草を作ってみんなで誰故草を咲かせよう」

②マジックショー&コンサート

日時 4月8日(土) 午後1時半~2時45分※開場は午後1時15分

内容 誰故草にちなんだマジックとコーラスなどがあります。参加者には、誰故草をモチーフにしたクッキーとしおりをプレゼントします。

定員 50人(要申込・先着順)

③誰故草の育て方講座

日時 4月8日(土) 午後2時50

分~4時

内容 誰故草の育て方についてわかりやすく学ぶ講座です。参加者には誰故草の種を5粒プレゼントします。

定員 15人(要申込・先着順)

②と③の申込方法等

対象 どなたでも

参加費 無料

申込方法 下記船越公民館に電話または窓口まで

主催 船越誰故草保存会、安芸区役所、広島市船越公民館

開催場所・申込・問合せ 広島市船越公民館(安芸区船越五丁目22番23号) ☎082-823-4261

三滝少年自然の家からのお知らせ

④やってみよう!はじめてのキャンプボランティア

レクリエーション、キャンプファイアなど自然体験活動ボランティア活動に関わる様々な講義や実技をとおしてボランティアへの意欲・関心を高めるとともに必要な技能の育成を図る。

日にち

- ①5月13日(土)
- ②6月17日(土)~6月18日(日)
- ③7月1日(土)~7月2日(日)

《全3回》

内容 ①レクリエーションなど
②キャンプファイア、野外炊飯など
③サマーキャンプ実習

定員 15人(定員を超える場合は抽選)

対象 大学生(18歳以上)

参加費 ①50円(保険料、資料代)
②2,050円(食費、保険料、資料代)
③2,050円(食費、保険料、資料代)

申込受付期間 4月1日(土)~4月30日(日) 必着

⑤三滝キッズレンジャー

~みんなで作ろう未来の森~
三滝の里山である当施設のフィールドを活用し、自然観察、クラフト、そして森林の整備などの活動を通して、

環境問題に関心を持ち、自主的・積極的に環境保全活動に取り組む態度を育成する。併せて、持続可能な社会(地域)づくりの担い手として必要な基礎的な知識や能力、態度を身に付けさせる。

日にち

- ①6月3日(土)~6月4日(日)
- ②10月14日(土)

内容 自然観察や森のクラフト、植林や間伐体験など

定員 30名(定員を超える場合は抽選)

対象 小学校4~6年生

※原則として2回とも参加できる人

参加費 ①2,400円(食費、保険料、資料代など) ②50円程度(保険料、資料代など)

申込受付期間 4月1日(土)~4月15日(土) 必着

協力 もりメイト倶楽部 Hiroshima

⑥サマーキャンプ

自然散策や集団宿泊生活を通して、自然に親しむとともに自主性や社会性を育む。

日にち 7月1日(土)~7月2日(日)

内容 野外炊飯、自然散策、キャンプファイアなど

定員 30人(定員を超える場合は抽選)

対象 小学校3~6年生

参加費 2,400円(食費、保険料、資料代など)

申込受付期間 5月1日(月)~5月15日(月) 必着

※④~⑥共通事項

申込 ホームページの「申込フォーム」または、「郵送」で申込ができます。郵送の場合は、事業名、住所、電話番号、参加者の名前とふりがな、性別、年齢、⑥と⑦は学年と保護者名を記入し、84円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛先を記入)を同封して「三滝少年自然の家」まで申し込んでください。

開催場所・申込・問合せ 広島市三滝少年自然の家(〒733-0802 西区三滝

本町一丁目73番20号)

☎082-238-6301

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>

助成

(公財) 広島市文化財団 令和5年度下期文化活動助成事業

広島市内で文化活動している団体又は個人が、広島市内で行う文化活動の成果を発表する事業に要する経費の一部を助成します。

対象団体 ①文化活動の場が主として広島市内であること②個人又は団体の構成員及び出演者・出品者の5割以上が、広島市内に居住又は通勤・通学していること③団体の事務局の所在地又は連絡先が広島市内にあること④目的、組織、代表者等団体の運営に必要な事項についての定めがあること⑤国・地方公共団体・企業等が、資本金・基本金その他これらに準ずるものを出資した法人でないこと⑥非営利団体であること

対象となる事業 音楽、美術、演劇、民俗芸能等の文化活動を行っている団体又は個人が行う日頃の活動の成果を発表する事業(出版物の発行及び学校行事は除く)で、次に掲げる要件に該当するもの

①事業が広島市内で開催され、広く市民に公開されること②非営利の事業であること③政治又は宗教活動に関わりがない事業であること

対象事業の実施期間 令和5年10月1日～令和6年3月31日

助成の額 助成の対象となる経費の2分の1以内で、20万円を限度とします。

申込方法 所定の助成金交付申請書に記入の上、必要書類を揃えて提出してください。

※詳細は下記ホームページをご覧ください。

受付期間 6月1日(木)～6月30日(金)

午後5時必着

※持参の場合は月～金の午前9時～午後5時まで受付。

申込・問合せ (公財) 広島市文化財団企画事業課

〒730-0812 広島市中区加古町4番17号

☎082-244-0750 ☎082-245-0246

URL <https://artscouncil-hiroshima.jp/support/projects/>

お知らせ

「美術ひろしま 32 2020.4-2022.3」刊行

充実した内容と豊富な写真で、広島美術界の動向から今後の展望、作品鑑賞のポイントまでが一冊でわかる美術書の決定版!

「美術ひろしま」は1981(昭和56)年の創刊以来、広島美術活動のあゆみを継続して記録してきました。第32集の今号では、2020-21年度のコロナ禍における美術を取りまく状況や、広島在住・ゆかりの作家の特集、話題の展覧会等を紹介。この2年間の広島美術界のニュースを一望できる一冊です。

内容 「特集コロナと美術」= コロナ禍に揺れた広島美術界の様子。「WORKS」= 広島ゆかりの作家の選りすぐり24作品。「都市と表現」= 広島フィルム・コミッション西崎智子さんご寄稿の『都市・広島と映画』、大規模改修後、リニューアルオープンした『広島市現代美術館の休館中サテライト活動』。「CLOSE UPひと・仕事」= 今、ホットに活躍する作家たちの一貫した活動などに焦点をあてて紹介。現代美術作家の諫山元貴さん、手嶋勇氣さん、画家の水津達大さん、デザイナーの土居辰彦さん。そのほか「話題の展覧会」「展覧会の記録」など。

閲覧・入手方法 広島市内の図書館、公民館でご覧いただけるほか、右記の書店等で販売しています。[A4判 128

頁 2,500円(税込)]

【販売場所】 紀伊國屋書店/フタバ図書/啓文社/廣文館/ひろしま美術館/JMS アステールプラザ1階情報交流ラウンジ/(公財) 広島市文化財団事務局(郵送販売・バックナンバーの販売)

問合せ 公益財団法人広島市文化財団企画事業課美術ひろしま係

〒730-0812 広島市中区加古町4番17号 JMS アステールプラザ内

☎082-244-0750 ☎082-245-0246

MAIL bunka@cf.city.hiroshima.jp

URL <https://artscouncil-hiroshima.jp/>



▲当プラザ4階事務室でも閲覧できます!

プラザ主催事業のご案内

よか 楽しむとの会

相談員のみなさんから余暇活用のためのお話を聞いて、余暇をあなたらしく生かす方法を一緒に考えてみませんか? 希望者には余暇についての個別相談を行います。

日時 4月15日(土)、5月27日(土)、6月17日(土)、7月15日(土)

いずれも午後2時～3時

※開場は午後1時50分

定員 20人(先着順)

申込開始日 各月1日から受付開始

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)

相談員 余暇開発士、生きがい情報士、介護福祉士、心理相談員など

令和5年度各種パソコン講座

ワードやエクセル、画像加工など、今年度も幅広いテーマで実施します。

申込方法 往復はがき、ファクスまたはメール(m-plaza@cf.city.hiroshima.jp)で講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・ファクスでお申込みの方はファクス番号を記入のうえ申込期間内にまちづくり市民交流プラザへお申込みください。

※電話による受付は行っていません。

定員 各講座30人(③のみ38人)

※申込多数の場合は抽選

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

講座名	①すぐに使えるワード講座
日時	6/2、6/16、6/30、7/14、7/28 隔週金曜(全5回) 10:00～12:00
内容	文字書式や段落書式、表の作成などWordの基本的な機能
対象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受講料	5,500円(テキスト代込み)
申込期間	4月1日から5月16日(必着)
講座名	②すぐに使えるエクセル講座
日時	6/2、6/16、6/30、7/14、7/28 隔週金曜(全5回) 13:30～15:30
内容	テーブルの設定、便利な関数の使い方などExcelの基本的な機能
対象	文字入力・パソコンの基本操作ができる方
受講料	5,500円(テキスト代込み)
申込期間	4月1日から5月16日(必着)
講座名	③Excel応用「関数」講座
日時	7/7、7/14、7/21、7/28 金曜(全4回) 19:00～21:00
内容	集計作業をテーマにテーブルやVlookup、Match等の関数の学習
対象	Excelの基本操作ができる方(簡単な関数や計算式を用いて表作成ができる)
受講料	4,500円(テキスト代込み)
申込期間	5月1日～6月20日(必着)

講座名	④エクセル入門編 ～やさしいエクセル～
日時	7/9、7/16、7/23、7/30 日曜(全4回) 13:30～15:30
内容	Excelの起動・終了から画面構成、簡単な関数の演習など、Excelの基本操作
対象	文字入力ができる方
受講料	4,500円(テキスト代込み)
申込期間	5月1日から6月20日(必着)

パソコンサロン

初めてパソコンに触れる方やパソコン操作に自信のない方を対象に、パソコンを無料開放します。会場には、ICTボランティアがおりますので、お気軽にご利用ください。

日時 4月2日、9日、16日、23日
6月4日、11日、18日、25日
8月6日、20日、27日

偶数月の日曜日(8/13は休み)
午後1時半～4時半(時間内出入り自由)

申込 不要(無料)

※パソコンの開放台数は20台

※パソコンの持込みはご遠慮ください。

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

企業・団体等との連携講座 空き家所有者向け相談会

空き家所有者の立場で一緒に考えさせていただきます。必要に応じて、より専門的な相談窓口の紹介や専門家への橋渡しをいたします。

ミニセミナー講師 一般社団法人さくらブリッジ 理事 湯上みどりさん

相談員 一般社団法人さくらブリッジ

日時 4月15日(土) ①午後1時～1時半②午後1時半～5時

内容 ①ミニセミナー「空き家になった実家の家財片付け」②個別相談会

定員 ①30人(先着順)②20組(1組30分以内) ※定員になり次第、締め切ります。

参加費 無料

申込 電話・FAX・E-mail・窓口で。

申込締切 3月31日(金)

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟4階ギャラリー

令和5年度「まちづくり市民交流フェスタ」開催日決定!

ボランティアやまちづくり生涯学習など市民活動に取り組んでいる団体・グループやまちづくりボランティア人材バンクの登録者の活動紹介・成果発表の場として「まちづくり市民交流フェスタ」を令和5年11月18日(土)・19日(日)に開催します。

これに先立ち、フェスタに参加する団体・グループを6月頃(予定)に募集します。フェスタに参加して、自分たちの活動のPRや他の団体・グループとのネットワークをひろげませんか。

※詳細については、決定次第当プラザホームページにて公開します。



▲昨年の「人材バンク発表」の様子

「プラザ主催事業のご案内」に関する申込・お問合せは・・・

広島市まちづくり市民交流プラザ

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
(合人社ウエンディひと・まちプラザ)
☎082-545-3911 ☎082-545-3838

新型コロナウイルス感染症 予防等についてお願い

- 受講時はマスクの着用(咳エチケット)をお願いします。
- 開催日に咳や発熱があるなど体調不良の方、開催日から過去2週間以内に発熱やかぜ症状で受診や服薬などをした方は参加を控えてください。



みステーションを拠点に、平和
大通り沿いに落ちているごみを
集めました。

参加企業・団体から300名程
の参加があり、可燃、不燃、
ペットボトル、カン・ビンなど計
30袋を収集することができました。



▲ごみステーション

企業等社会貢献活動研究会の活動報告

「企業等社会貢献活動研究会」(以下「社貢研」)は、市民・企業・行政による協働のまちづくりを進めるために、社会貢献活動に関する情報交換や活動促進・協働を図る場として、平成10年に発足しました。



▲例会の様子(リモート併用)

現在、広島市内に本社又は支社・支店を置き社会貢献活動に取り組む企業・団体、20社2団体で構成しています。

情報交換や活動紹介の場として例会を年に4回行うほか、以下で報告するボランティア活動や協働セミナーをなど通して、企業の社会貢献活動の普及啓発に取り組んでいます。

愛のカレンダー収集・配布大作戦

職場などで余っているカレンダーを社貢研の各企業・団体で収集し、広島平和文化センターや広島市社会福祉協議会などの団体を通じて、広島で暮らす留学生や地域の高齢者にお配りしている事業です。24回目を迎える今年は、カレンダー 6,993部、手帳2,066冊を寄贈することができました。

ひろしま男子駅伝応援・清掃ボランティア

1月に開催されているひろしま男子駅伝を応援し、盛り上げるとともに沿道の環境美化を行う活動です。平和大通りに設置した2か所のご

協働セミナー

参加企業・団体だけでなく一般の方も対象に協働セミナーを3月に開催しました。今年度のテーマは「持続可能な消費と生産 食品ロス削減活動からみるCSR(企業の社会的責任)」として、社会福祉法人正仁会フードバンク事業あいあいねっと代表の原田佳子さんを講師に、現状と課題について学びました。

まちづくり市民交流フェスタ2022企画事業

11月に2日間にわたり開催されたまちづくり市民交流フェスタ2022では、企画事業として花王グループカスタマーマーケティング(株)より「好印象大人&スキンケアセミナー」、日本航空(株)広島支店より「JAL整備士による航空教室」を開催しました。企業のノウハウを生かしたより専門的な内容で、参加者には大変喜ばれました。

今後も市民の皆さんに社貢研の活動を還元していけるよう取り組んでいきます。

参加企業・団体名簿(五十音順)

SMBCコンシューマーファイナンス(株)、NHK広島放送局、(株)NTTドコモ中国支社、NTT中国支店、花王グループカスタマーマーケティング(株)、損害保険ジャパン(株)、中国電力(株)、(株)中国放送、テルウェル西日本(株)中国支店、日本航空(株)広島支店、日本たばこ産業(株)広島支社、(株)パナソニック、広島ガス(株)、(株)広島銀行、(社福)広島市社会福祉協議会、広島商工会議所、広島信用金庫、広島テレビ放送(株)、広島電鉄(株)、(株)広島ホームテレビ、マツダ(株)、(株)もみじ銀行

【オブザーバー】広島市(市民局市民活動推進課)

【事務局】広島市まちづくり市民交流プラザ

募集しています!

「らしく『情報の森』」に載せてほしい!という、イベントなどの記事を募集しています。次号は、「7月下旬発行予定」です。8月以降の情報をお待ちしています。下記、発行者までお送りください。[5月末日必着]

合人社ウエンディひと・まちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ)

●開館時間
午前9時30分～午後10時

●休館日
毎月第3月曜日、12月29日～1月3日

●交通アクセス
市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分
バス:「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分
アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分

●ホームページ
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

●ひろしま情報a-ネット
<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>

●E-mail
m-plaza@cf.city.hiroshima.jp



プラザHP

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、車いす利用者等にご利用いただく駐車場は3台分用意しています。

※自転車・バイクの方は、地下の公共駐輪場(有料)をご利用ください。

〒730-0036 広島市中区袋町6-36

TEL: 082 (545) 3911 (代表)

TEL: 082 (545) 3913 (施設予約受付専用)

FAX: 082 (545) 3838

